

FAOの農業人口マップ 世界の農業人口の割合 2005年

Agricultural population in the world



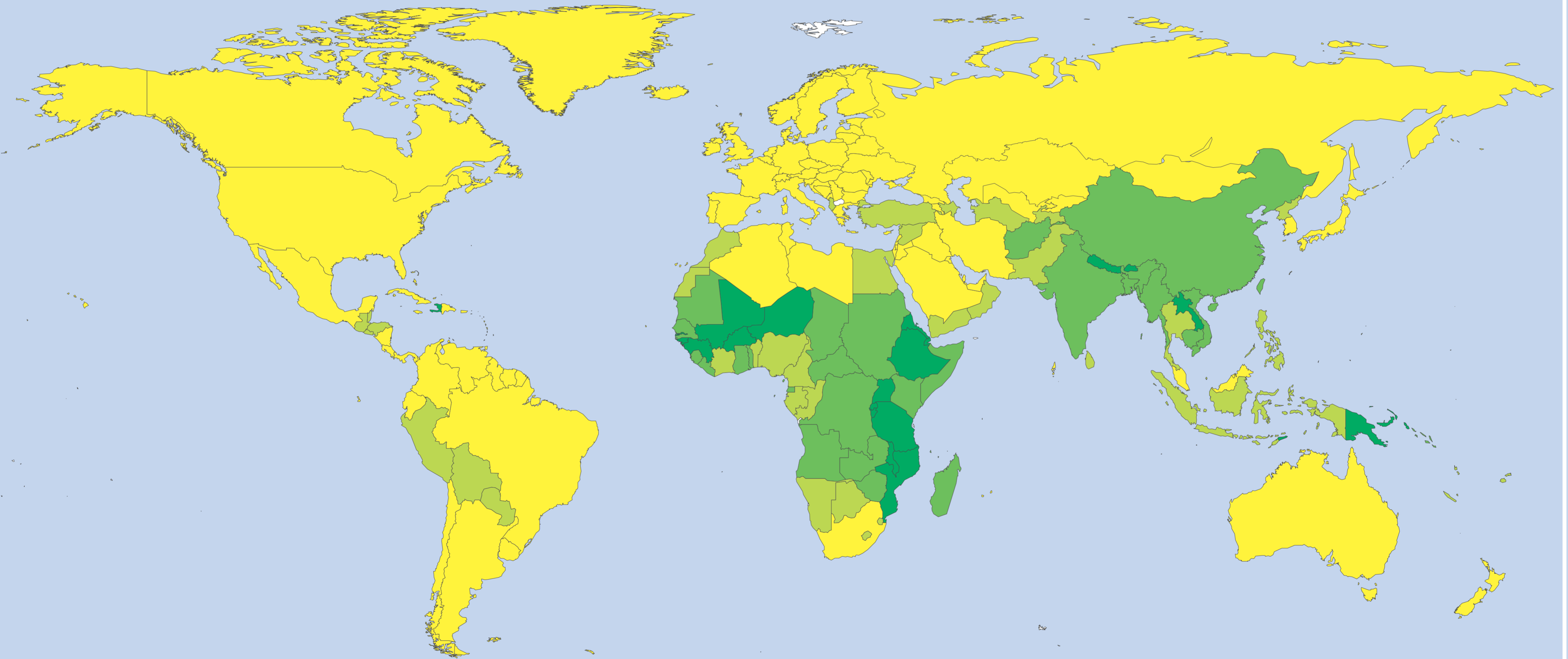
現在、世界には9億を超える栄養不足人口が存在しています。このうち7,500万人は2003-05年から2007年の間に食料価格高騰の影響で増加したとされ、全体の63%をアジアが、30%をアフリカ・近東が占めています。アジアやアフリカでは、国民の50%以上を農業人口*が占める開発途上国も多く、農業

が多くの人々の雇用を支えています。農業投入材や技術の不足により、食料価格高騰という状況においても増産の機会を生かすことができませんでした。そればかりか、現在の金融危機でさらに厳しい状況に追いやられています。FAOは、2050年までに食料生産を倍増しすべての人の食料への権利を確保するた

めには、開発途上国の農業に年間300億ドルの投資が必要であると呼びかけ、農業投資の重要性を訴えています。

※農業人口：農林水産業に生計を依存するすべての人を指す。農業活動的に従事する人、およびその非労働従事扶養家族を含む。

参考：「The State of Food Insecurity in the World 2008」FAO, 2008



25% 未満 25% 以上 50% 未満 75% 以上

出典：FAOSTAT, 2009年2月現在